

柳原 絵夢  
YANAGIHARA emu (彫刻科修士課程)

stage 4

「untitled」 ステンレス

ふとした時に  
日溜まりができる。  
ハイウェイ、旅先の情景  
ベットルームや浴室  
そして、OA機器の並ぶ  
オフィスにも日溜まりが  
できる。

「あたたかくウエストを  
締め続けるコルセットに  
包まれたようだ。」



田畑 祭  
TABATA matsuri (工芸科鍛金研究室修士課程)

stage 5

「Caracol」 ステンレス

ぬるっとしていてやわらかく  
どこまでもゆるい、  
そのからだ。  
そのからだを包み込む、  
かたい、存在を示す殻。  
彼らの時間は、私とは違う  
流れ方をしているのだろうか。



管 懷賓  
GUAN huaibin (油画科博士課程)

stage 6

「陸地」 ステンレス

陸地は超時間・空間的な概念  
である。  
旅の出発点と帰着点である。  
陸地は精神的彼方の一つの  
休息の空間である。  
ここでの「陸地」は一つには  
背景であり、一つには着陸地  
でもある。  
私は陸地を借りてこの制作を  
成立させた。



木下 哲人  
KINOSHITA tetsuhito (工芸科鍛金研究室博士課程)

stage 7

「花束 for 取手」 ステンレス

芸大生やアートに街を開放し  
てくださる取手市、それを認  
め鑑賞して下さる取手市民  
の皆様、感謝の念を込め、  
ささやかですが、僕からの花  
束贈呈です。



今井 由佳  
IMAI yuka (工芸科鍛金研究室修士課程)

stage 5

「流」 ステンレス

君はどこに行きたいの？  
時の流れ。  
社会の流れ。  
感情の流れ。  
自然の流れ。  
大丈夫、  
そんなに必死に  
逆流しなくても  
海へはたどりつくんだよ。



浜田 周  
HAMADA shu (彫刻科非常勤助手)

stage 6

「STAR CAPSULE」 ステンレス

星型カプセル。  
カプセルの中にはさまざまな  
自分が見える。  
時には光り、時にはくもる  
大切なカプセル。  
ホシガタカプセル。



森田 太初  
MORITA taishyo (彫刻科修士課程)

stage 6

「足枷」 ステンレス

しかし、景色には同一のもの  
はなく、人間はさまざまな思  
いに振り回されている。  
  
「あるがまま」に生きるには、  
私はまだ若すぎる。  
最終出口はまだ遠すぎる。



小林 龍太  
KOBAYASHI ryuta (工芸科鍛金研究室修士課程)

stage 7

「太古からの道しるべ」 ステンレス

地層は、土砂、岩石、が層状に  
なり、一つの地層には特有の化  
石が含まれる。  
太古の環境や生物の情報を様々  
な地殻変動により形を変化し、  
道しるべとして現代に送る。

